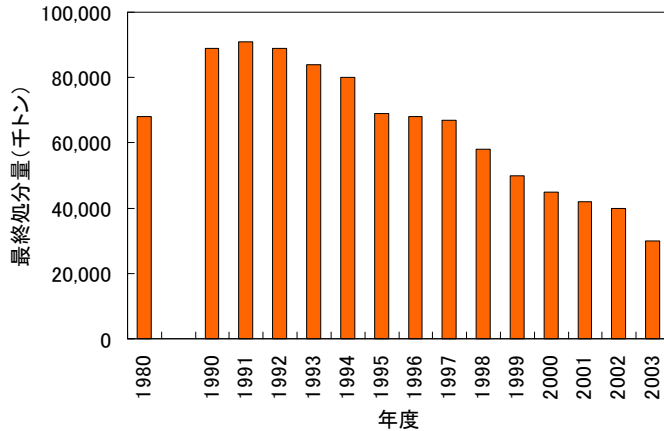


指標：産業廃棄物の最終処分量、残存容量と残余年数の推移

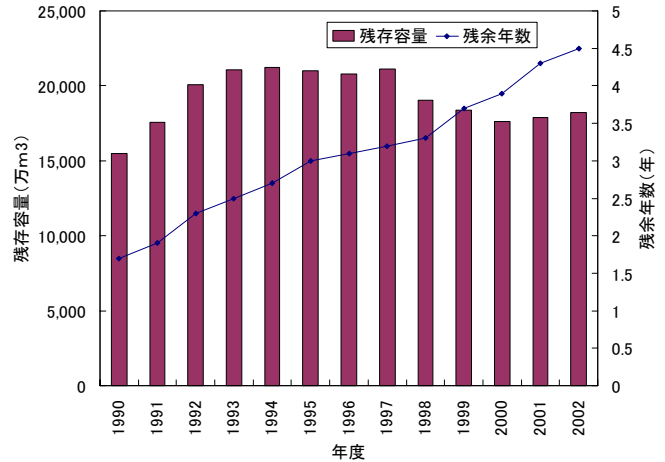
減量率の向上によって、最終処分量は近年減少する傾向を示しており、排出量の約12%まで削減を達成している。

最終処分場の残存容量は、'90年代に大きな変化は認められないが、最終処分量の軽減により残余年数は増加傾向を示している。

産業廃棄物の最終処分量の推移



産業廃棄物の最終処分場の残存容量と残余年数の推移



残余年数＝最終処分場残存容量／最終処分量
重量－容量換算係数として、1.0m³／トンとしている。

(出典)環境省資料をもとに国土交通省国土計画作成